

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.4640	2.4830	2.4870	2.5000	2.4740	-0.0260
	USD/YEN	Spot	106.86	106.90	107.15	108.16	108.10	-0.0600
	EUR/USD	Spot	1.2807	1.2715	1.2643	1.2650	1.2668	+0.0018
	BRL/YEN	Spot	43.36	43.05	43.08	43.26	43.70	+0.4400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.48	1.65	1.66	1.73	1.43	-0.3010
		1Year(p.a.)	1.93	2.16	2.12	2.21	1.92	-0.2930
	Real Interest	6MTH(p.a.)	11.52	11.52	11.44	11.47	5.72	-5.7415
		1Year(p.a.)	11.97	11.95	11.85	11.92	11.87	-0.0443
Stock	Bovespa		54,303	52,432	52,411	50,713	51,941	+1,227.47
Bond	CDS Brazil 5y		154.00	158.26	167.00	166.00	171.00	+5.0000
	Global 40		108.175	108.000	108.350	108.250	108.250	u.c.

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回	備考
FGV消費者信頼感	--	101.50	103.00	
経常収支	-\$7000M	-\$7907M	-\$5493M	
対内直接投資	\$3800M	\$4214M	\$6840M	なし

3. 要人コメント

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はU\$1=R\$2.4400で寄り付いた。
- 週初のレアルは週間高値となるU\$1=R\$2.4400で寄り付いた後、今週の日曜日の大統領選挙を控えてリスクオフモードとなり、レアルは一気に下落した。更に大統領選挙に関する世論調査が発表され、ルセフ大統領とネベス氏が引き続きほぼ引き分け状態であることが明らかになると、レアルは2.4680まで反落した。
- 翌21日には新たな世論調査でルセフ大統領は52%の支持率を得て第二ラウンドで初めて野党のネベス氏の支持率(48%)を超えたほか、ネベス氏の不支持率は38%から40%に上昇し、レアルは2.5000まで続落する展開となった。
- 週央にかけては大統領選挙を控えて世論調査で小幅ではあるが、ルセフ大統領のリードが明確になる中、レアルは終日ボラティリティーの高い展開が続く展開となった。
- 翌23日には世論調査でルセフ大統領の支持率が更に上昇すると、レアルは2008年以来に2.5170まで続落した。
- しかし週末にかけてネベス氏がリードしているSENSUS世論調査が発表されたことが好感され、レアルは一気2.4500まで急反発し、結局U\$1=R\$2.4740で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
10-27	Federal Debt Total	Sep	--	2169B
10-27	貿易収支(週次)	Oct-26	--	-\$724M
10-27	税収	Sep	91000M	94378M
10-28	FIPE CPI-週次	Oct-23	--	0.34%
10-28	FGV建設コスト(前月比)	Oct	--	0.16%
10-29	SELICレート	Oct-29	11.00%	11.00%
10-30	FGVインフレIGPM(前月比)	Oct	0.2%	0.2%
10-30	FGVインフレIGPM(前年比)	Oct	2.88%	0.0
10-30	ローン残高(前月比)	Sep	--	1.00%
10-30	融資残高	Sep	--	2864B
10-30	個人ローン・デフォルト率	Sep	--	6.60%
10-30	Private Banks Lending	Sep	--	1346B
10-30	中央政府財政収支	Sep	--	-10.4B
10-30	CNI Consumer Confidence	Oct	--	10970.0%
10-31	PPI 製造業(前月比)	Sep	--	0.48%
10-31	PPI 製造業(前年比)	Sep	--	2.50%
10-31	純債務対GDP比	Sep	--	35.90%
10-31	Nominal Budget Balance	Sep	--	-31.5B
10-31	基礎的財政収支	Sep	--	-14.5B

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.40 – 2.50

今週は海外でリスクオフモードが強まる中、国内では大統領選挙を控えて次から次へと出てくる世論調査を材料に市場は大きく上下し、ボラティリティーが高い展開となった。市場がよりサポートしていると想定できるネベス氏が世論調査で支持率を失う度にレアルは売られ、2008年以来の低い水準まで下落する場面も見られたが、第一ラウンドで見られた世論調査の外れ方を考慮に市場はベネスがまだ当選される可能性があると希望を持っている。ここまでタイトな選挙は今までの歴史の中でも珍しく、最後の最後まで分からぬ。ブラジルの有権者は貧しい地域と裕福な地域で支持者がはっきり分かれている。貧しい地域の住民は労働者党のお陰で12年に及ぶ補助を受けてきたため感謝の気持ちが強い一方、都市部に集中する裕福な人々は介入主義的な政策によって経済が停滞していることから変革を期待してネベス候補を推している。日曜日の結果がどうであっても、次の4年間の政策は成長を取り戻す鍵となるので市場の目は引き続き厳しい。来週は選挙結果を受けて週初めはレアルのボラティリティーが高い展開が予想されるが、週央からは落ち着くであろう。